

まつしま

議会だより

第142号

令和2年5月1日発行
宮城県松島町議会



撮影場所：高城川沿い大友橋付近（松島町幡谷）

- ◇ 予算はどう使われるのか……………P 2
- ◇ 新年度予算を問う……………P 4
- ◇ 議案審議……………P 18
- ◇ 7人の議員が熱弁（一般質問）……………P 24
- ◇ 町民の声……………P 34

令和2年
第1回 定例会

[3月6日～3月19日]

異例！全員がマスク姿での議会



新型コロナウイルス感染予防のため、議場内ではマスク着用

予
算

櫻井公一町長は、令和2年第1回議会定例会開会にあたり、町政運営の所信を「復興・創世期間の最後の1年は、松島町における復興の完遂、創造的復興を果たせるよう鋭意努める。また、将来世代に負担を先送りしないために効率的かつ効果的行政運営を徹底し、町民の皆さまが将来に希望を持ち、安心して暮らせる松島町の実現に向け、全力を尽くしていく。」と述べた。



施政方針を表明する櫻井公一町長

施政方針

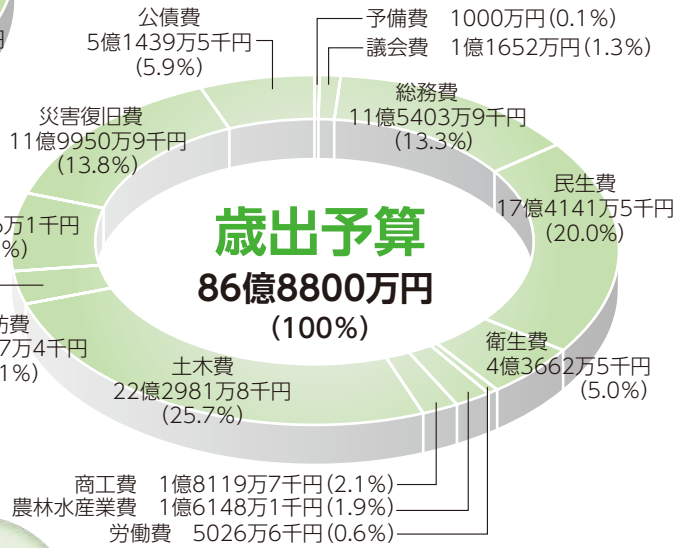
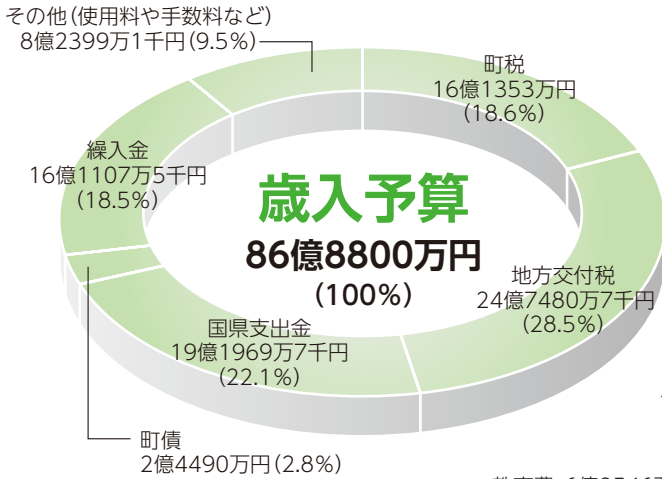
「町民が将来に希望を持ち

安心して暮らせる松島町の実現」

新型コロナウイルス感染症が世界的規模で広がる中、議場内では異例の全員がマスクを着用し、令和2年第1回議会定例会が令和2年3月6日から3月19日までの会期で開催された。（議会開催中、宮城県内の新型コロナウイルス感染者数は1名）
初日には櫻井公一町長から新年度における施政方針が表明された。
新年度予算については、予算審査特別委員会を設置し、分科会方式で慎重に審査され、

令和2年度松島町一般会計予算他すべての当初予算を原案のとおり可決した。
また、その他提案された内容は、議案21件（条例の制定・一部改正・廃止・補正予算、工事請負契約の締結・変更協定の締結）、議員提案1件。審議の結果、すべて原案のとおり可決した。
一般質問は、7人の議員が各々の視点から町政について質問した。

令和2年度 一般会計86億8800万円



※構成比の数値は、四捨五入しているため、計の数値と合わない場合があります。

町民一人あたりの支出予算額

62万8654円

令和2年3月末
人口1万3820人
による試算



令和2年度の各種会計予算

会計名	令和2年度	平成31年度(令和元年度)	前年度当初比	
一般会計	86億8800万円	95億3600万円	▲8.9%	
特別会計	国民健康保険	18億5571万3千円	17億8975万2千円	3.7%
	後期高齢者医療	2億1103万円	1億9996万8千円	5.5%
	介護保険	19億9701万2千円	18億1270万6千円	10.2%
	介護サービス事業	905万4千円	891万2千円	1.6%
	観瀾亭等	9404万6千円	8921万1千円	5.4%
	松島区外区有財産	190万5千円	529万4千円	▲64.0%
	下水道事業	18億2533万7千円	19億7636万2千円	▲7.6%
水道事業会計	14億7759万7千円	13億8101万円	7.0%	
合計	161億5969万4千円	167億9921万5千円	▲3.8%	

新年度予算を問う

総括 質疑

総括質疑とは？

新年度予算に対する質疑で、詳細な審査は委員会において行われるため、大綱（根本的なもの）について質疑を行うものです。



新型コロナウイルス感染防止のため執行部もマスクを着用して説明

総括質疑

新型コロナウイルス感染症への対応は



杉原 崇
議員

問 町内の多くが小規模事業者であり、創業される方も増えてきた中で、経営が厳しくなっている。支援策をどのように考えているのか。

町長 まずは情報をよく把握をして、情報共有をしながら、そういった方々にいろんな情報を提供していく。

問 商工会や観光協会、金融機関を含めて、情報共有する場をつくるべきではないか。

町長 3月下旬に、コロナウイルスに関する会議を開きたいということをお願いしている。情報共有しながら、町としてどう動いたらいいいのか、関係機関の方々を含めて、協議をしていきたい。

問 休校措置が解除になった後の学校の対策は。

教育長 学習面では未履修が発生しているので、次の学年でフォローする。できなければ、夏休みを削るなど埋め合わせを考えている。

解除になればまずは安全面、それから学習面から始めていく必要がある。

インバウンド対策は

問 国際交流員（CIR）の任期が今年度の途中までとの事だが、外国人観光客への対策は。

町長 平成26年から始まったCIRは、震災からの復興ということで、外国人から見た目で松島の情報発信やホテル等へのアドバイスなどもやっていただいた。ただ、震災からのストーリーのけじめとして、一旦区切りをつけることにした。国際交流員につくっていただいた財産を大事にしながら、今後取り組む。

タウンミーティング

問 幅広い世代の方と気軽に語り合うとの事だが、その周知は。

町長 若い人たちの意見ももう少し聞こうということ、町の課題や住みよいまちづくり、子育て、安心・安全をどう思っているのか、いろんな世代に働きかけていきたい。広報でお知らせするが、アンテナを張りめぐらせながら、こちらから出向いて、やっていきたい。



高橋 幸彦
議員

タウンミーティングの時期や回数等で予算化は

問 タウンミーティングの時期や回数等は未定のことであるが、予算化はしているのか。

町長 予算化はしていない。行政懇談会とは異なった方法で行う。

問 タウンミーティングにより多くの町民に参加してもらう方策は。

町長 長期総合計画のアンケートの回答率は約25%と少ないが、町に対する意見書は集約し、行政に反映しているものもある。そのような点も含めて広報紙等で周知に努めていく。

施政方針にある「賢い縮小」とは

問 町長の考える「賢い縮小」とはどのようなものか。

町長 人口が減少していく中で、今までどおりにインフラを維持していくのは大変であり、縮小等を進めていかなければならない。たとえば集会施設等は46施設があり、維持管理が問題とな

っている。地域の方々とよく話し合っ
て進めていく。

問 事業の一元化で具体的な施策は。

副町長 保育所と幼稚園を認定こども園にすることも、その一つである。

マスコミ、特に地元紙の活用を

問 先日の磯崎地区の役員会において、隣の利府町に比べて松島町の記事が少ないという意見があった。また、新型コロナウイルス対策で、他の市町村では妊婦さんや病院、社会福祉施設等にマスクを提供したという記事が掲載されたが、わが町の対応はどうなのか。

町長 松島町として結構記事になっていると思う。また、新型コロナウイルス対策としてのマスクの配布は、県内で一番早かったのではないかと自負している。マスコミ対応より、行動を優先した。今は、2弾目のマスクの提供を考えている。



総括質疑



今野 章
議員

住民サービス低下になるので

問 町長は「賢い縮小が重要」としているが、集会施設の集約などは住民サービスの低下になる。公共施設総合管理計画における基本計画を早く住民に示し、住民の理解を得るべきではないか。

町長 町の人口減を踏まえ、学校、幼稚園、保育所など地域のバランスを考え、地域の実情に合ったものにした。また、財政的な厳しさもあり、いつまでと言えない実情がある。

施設利用料の見直しの前に

問 消費税増税に伴い施設利用料等の見直しを検討することになっているが、増税による町の影響は。住民に負担を求める前に国に消費税は増税すべきでないと言つべきではないか。

町長 国は10%にする根拠を国民に示し、国会で認められたと思う。消費税ゼロとは言えないが、増税への対応や突然の予算措置など困ることもあり、国にしっかりと訴えていきたい。

若人などに公的住宅の供給を

問 町営住宅の空き家4棟を解体するが、町営住宅は老朽化が進み戸数も減っている。貧富の格差拡大も進んでおり、若人など低廉な公的住宅等の供給が必要ではないか。

町長 低廉、低価格な住宅建設に町の財源を充てることは厳しい。町営住宅の老朽化の問題については、今後検討したい。

公的病院等の再編への対応は

問 厚労省が示した公的病院等の再編計画の中に塩竈市立病院がある。公立病院が果たす役割は小さくない。町民の利用者もおり同じ圏域の自治体としてどのように対応するのか。

町長 市立病院の詳細を把握してはいないが、公立病院再編の一番の問題として、働き方改革のしわ寄せで派遣医師が来られず、医師不足があるのでないか。また、職員等の費用も膨大なものと聞いている段階である。





赤間 幸夫
議員

財政状況を反映した予算とは

問 予算編成の評価は、どのようなものか。政策予算編成となりえたか。

町長 財政調整基金を考え、予算規模で86億8800万円ぐらいになったが、政策予算である「認定こども園」などの予算は入っていない。

また、宮城東部衛生処理組合や塩釜地区消防事務組合への負担金、松島海岸駅バリアフリー化に対する補助金等が5億8000万円ぐらいになるなど役場内では、相当精査して組んだ予算である。

問 公共施設の集約や事業の一元化等施設利用の見直し、公共料金等の改定が近い将来見込まれているのか。

副町長 本年9月ごろまでに公共料金、使用料や手数料とか、380件前後を整理し、上がるもの、現状維持、下がるものを皆さんに示したい。

オリパラでの情報発信は

問 オリピック等の機会を捉えた、情報発信と新事業展開はどのように描いているのか。

町長 松島町には6月21日に聖火が入ってくる。オリピック・パラリンピック組織委員会からは、コース、内容のシミュレーションがあり、それに向け関係を整備していくが、自治体独自の情報発信や新事業展開をするのは規制があり難しいので、教育委員会と手を組み子供たちの記憶に残るオリピックとしたい。

下水道未普及地域解消は

問 未普及地域の解消として、町が描く事業推進とはどのようなものか。

水道事業所長 震災で中断した初原地区を中心に進めながら法律の部分で無理だという部分では、合併浄化槽設置補助施策による普及推進を図っていきたい。

デマンドバス運行は

問 2カ年にわたってデマンドバス運行を実証実験して、その結果を踏まえたバス運行を、どのようにする考えなのか。

町長 台風だったり、デマンドバスの集約だったりと、人手が足りなくまとめ切れなかった。またより次第に出来るだけ早目に、議会に示したい。

他に、介護保険事業の運営や総合グラウンドへのLED照明の改善について質問。



菅野 良雄
議員

町長の行財政改革とは

問 町長は、財政状況は厳しいと言いつづけている。住民の多種多様な要望に応えるためには思い切った行財政改革を行う必要があると思う。町長の考える行財政改革とは。

町長 生産年齢人口が減って2千万円程の税収減となる。そんな中、新規事業で約1億円掛かる。担当と協議しながら歳出を抑えてやっていくことである。

企業誘致で歳入の増額を

問 松島メガソーラー発電所が6月に稼働される。税収はどの程度か。

町長 5、6千万円程になると思う。

問 税収が伸びるいい事例である。企業誘致はどうしても実行しなければならぬ。企業誘致の拠点確保のために「松島イノベーションヒルズ構想」を示している。構想では昨年4月、土地区画整理組合協議会の設置、令和2年5月に市街化区域編入手続き開始となっているが、町はどうかかわるのか。

企画調整課長 開発事業者が地元の地権者と協議しながら、区画整理組合の設立に向けて準備を進めている。町は、都市計画法に基づく工業系の土地利用ということで、その部分だけ飛び地で市街化区域に編入されるように県と協議をしている。

幡谷地区のほ場整備は

問 幡谷地区のほ場整備について協議が開始されたと聞く。事業実施に早く取り進むよう望むが、新年度の予算措置はどの程度か。

町長 共同ではほ場整備をやっていきたいという話は来ている。地権者全ての同意ということで役員の方々が動いていると思っている。

子育てへの経済的負担軽減とは

問 経済的な負担軽減と子育てしやすいまちづくりを謳っている。若い世代の定住促進に結び付くので実施してほしいが、新年度においてどんな軽減を図るのか。

町長 何千万円かの予算を組んでいるという実態はない。認定こども園や保育所を取り巻く環境について精査していくことだと思っている。



色川晴夫
議員

観光エリア整備促進は

問 「未来の町への投資」「安定した松島の観光」に向け松島海岸駅中心に観光エリアを拠点に発信していくとしているが。

町長 松島海岸駅が2年後完成する。駅前広場とグリーン広場から継がる路線を中心に整備される。地域の皆様と商店街との協議で相乗効果が出るよう取り組んでいく。

効率的な財政運営と人事評価で意識向上を

問 将来世代に負担を先送りしないため、効率的・効果的な行財政運営を今後も徹底していくとしたが、職員からの提案はあるのか。

町長 公務員になり仕事のやる気のない人はいないと思うが、仕事内容での向き、不向きある。職員からの提案は1件あったが、今後も提言してもらおうようにしていく。

問 人事評価を実施し、職員の意識向上を図っていたが。

総務課長 制度の見直しの中で、令和2年度は他自治体を参考しながら改善し、職員が納得できる制度としていく。

地域おこし協力隊の導入状況は

問 昨年3月議会での質問で、「来年度の予算に反映できるよう頑張る」と答弁されたが、地域おこし協力隊の導入はどうなったか。

町長 当初予算査定で最後まで検討したが、苦渋の決断で見送りにした。今後とも一次産業で活躍できる方を念頭に入れ対応する。

現役場庁舎の今後の見通しは

問 仮庁舎として使用している現庁舎について、昨年3月議会で「議会后、地権者に会う。そして、平成31年には方向付けする」としていたが。

町長 4月に地権者と会い、町に転売する気があるかないか、10年目以降の賃貸について話し合いをしていく。



片山正弘
議員

浸水地域の現状調査は

問 内水対策は身近な問題であり、今回の台風19号による被害も多大で、浸水地域を早期に現状調査し解消対策をすべきではないのか。

町長 復興事業で進めている雨水排水機場等の内容は、復興庁と調整をしたが難しい。浸水区域の検証は、まとまっていない。今後の課題であり、建設課・水道事業等に範囲内での調査を指示はしている。検証結果に伴う予算は莫大な金額と思う。できるだけ早く結果を示したい。

啓発事業は

問 高齢化率が年々増す傾向に伴い、交通事故・詐欺被害対策等の啓発の取り組みは。

町長 毎月、米寿を迎えられた方々へ、お祝いに訪問しているが元気な八十八歳の方が大変多い。交通事故や車の運転注意喚起・オレオレ詐欺等に関しては、各種団体の

方々に、機会あるたびに注意喚起を広めていただくようお願いと伴に地域的ムードが高まるように努める。

産業観光課長 本町には消費生活相談員を設置している。年々相談が倍増している。昨年と今年に還付詐欺・カード詐欺被害があった。

防疫対策は

問 松島町の子ども・子育て支援事業計画が示されたが、コロナウイルス発生に伴う防疫対策を追加すべきでは。

町民福祉課長 今回の計画書の中には、コロナウイルス対策の記載はないが、保育所の運営で、安全・安心な施設づくりでインフルエンザ・ノロウイルス対策と同様に衛生対策の中で取り組んでいく。

市街化区域内未舗装解消は

問 目的税（都市計画税）を支払っている市街化区域内未舗装解消の優先順位は。

建設課長 各行政区の要望箇所については、優先順位で実施している。昨年度は新たに舗装箇所はない。新設舗装予算が取れない事もあり、地域の方の一部負担でなく舗装できるよう進める。

第1分科会 第1分科会が審査する課

議会事務局／会計課／総務課／選挙管理委員会／企画調整課／財務課(松島区外
区有財産特別会計含)／産業観光課(観瀾亭等特別会計含)

企 画 調 整

主なつかいみち

広報公聴費	670万円	(14万円)
企画費	3億713万円	(1億1205万円)
電子計算費	8536万円	(317万円)
復興推進費	1373万円	(▲26万円)

総 務 ・ 環 境 防 災

主なつかいみち

一般管理費	2億5703万円	(▲272万円)
町民バス	3715万円	(368万円)
非常備消防費	4277万円	(▲92万円)
し尿処理費	5935万円	(100万円)

※()内は前年度対比

し尿処理の経費が増えているが

問 新型コロナウイルス感染症により、集会などが自粛状況にある。町の集会施設はどうなっているのか。
総務管理班長 現段階では、制限は設けておらず、指定管理者の判断で行っている。

問 行政区長等の傷害補償内容は。
総務管理班長 死亡・後遺障害の100万円、入院保険金日額が3千円、手術保険金入院が3万円等、民間の傷害保険を利用する予定である。

問 し尿処理費が年々増加している。他の市町の負担割合が下がれば、松島町が単独で処理を行うことになるのではないか。
総務課長 負担金については、消防事務組合でも検討している。直接下水道に投入できないものか検討している。

問 町内の通学路における防犯灯LED化の進捗状況は。
環境防災班長 現時点で84%である。今後、東北電力から寄贈される年間10灯の活用で100%をめざす。

問 定住促進を謳っているが、復興住宅のような戸建ての町営住宅を整備する考えはあるのか。
企画調整課長 定住補助は、町外からの移住に対してのものであり、町内アパートから町内戸建ての新築などに対する支援策がない。現在、町内の方が町外に転出ししない支援の仕組みを検討している。

定住促進、企業誘致はどう進めるか

問 企業誘致の土地の候補地は何ヶ所で面積はどの程度か。
企画調整課長 初原地区のイノベーションヒルズ一ヶ所で約30haである。

問 明神地区の地区計画は、地権者から計画が変わったと聞いた。長期総合計画の中で令和4年度まで検討協議となっているが、明神地区だけでないということか。

企画調整課長 開発事業者と町で都市計画の区域編入に向けて手続きを進めてきた結果、仙塩広域都市計画の変更内容が閲覧可能となり、開発事業者に注目されている。これまで携わっていた事業者以外にも動いており地権者にあたってはいるものと思う。



塩釜地区環境センター(し尿処理施設)

産業観光

主なつかいみち

農業振興費	1542万円	(▲239万円)
林業振興費	3967万円	(124万円)
水産業振興費	406万円	(26万円)
商工業振興費	5622万円	(8万円)
観光費	6270万円	(▲457万円)



復興事業・松島大橋 (令和2年6月中旬供用開始予定)

財務・財政

主なつかいみち

ふるさと納税費	4503万円	(1552万円)
財産管理費	6952万円	(▲3164万円)
税務総務費	6284万円	(146万円)
賦課徴収費	4365万円	(▲514万円)

消費税増税が町の予算に与える影響は

問 消費税増税が予算に与える影響を財政班としての程度見積もっているのか。

財務班長 単純に比較できないため、答えることはできない。ただ、少なからず影響はあると見込んでいるため、事務費マイナス5%の対応で予算編成している。

問 中長期の財政計画は。

財務課長 長期総合計画の後期計画と調整しながら実効性のある財政計画を作る段階である。

問 納税組合長に係る報償費が無くなっているが、解散したのか。

財務班長 納税貯蓄組合連合会については、近隣市町に連合会がなく活動も困難になったことから、役員会で議論の結果、解散となったが、各納税組合は継続することになっている。

問 地方交付税5億円減の根拠は。

財務班長 震災復興特別交付税の事業進捗による減額である。

新型コロナウイルス感染症対策は

問 国際交流員の支援事業成果は。

観光班長 観光協会や旅館組合において英会話教室を実施することで英語への親しみの他、外国の文化への理解や日本文化を外国人へ伝えるきっかけとなっている。

問 観光客の入込数が減少している。

観光班長 観瀾亭・福浦橋の状況はどうなっているか。

観光班長 観瀾亭については、団体客のキャンセルやJRバスの連休等で減少している。福浦橋については、若い世代の観光客が多く昨年度より増えている。

問 松島町は宿泊施設が多い。新型コロナウイルス感染症対策について県と協議をしているのか。

観光班長 県と中小企業が直接協議しているのが多い。範囲が広く町だけで対処できないが、情報提供等は積極的に行っていく。



福浦橋

第2分科会 第2分科会が審査する課

町民福祉課(国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計含)／健康長寿課(介護保険特別会計・介護サービス事業特別会計含)／建設課／教育委員会／水道事業所(下水道事業特別会計・水道事業会計含)

健康・長寿・介護

主なつかいみち

老人福祉費	3億1374万円	(6753万円)
保健福祉センター管理費	4662万円	(▲31万円)
予防費	7519万円	(279万円)
母子衛生費	1137万円	(▲114万円)

災害時登録台帳の整備は
問 災害時登録台帳の整備を条例化した自治体もあるが、わが町の対応は。
高年齢者支援班長 対象者は要介護3以上、身体障害者手帳1級2級保持者等1192名であるが、現在870名の登録がある。民生委員に年1回、巡回していただき、登録を勧めている。

建設・土木

主なつかいみち

道路維持費	6937万円	(143万円)
道路新設改良費	5億1407万円	(▲5億3212万円)
公園管理費	6414万円	(4798万円)
街路事業費	3億000万円	(▲11億5838万円)

橋の完成はいつ
問 松島大橋と松島橋の完成はいつ。
建設課長 松島大橋は聖火リレー(6月21日)の1週間前には切替したい。
建設班長 松島橋はN・T・Tとの調整が難航しており、5月末に開通予定である。
問 町頭1号・2号ご線橋の補修は。
建設班長 腐食が激しく、J・R線路に金属片が落ちている。令和2年度で設計し、その後工事していくが、J・Rの受託となっているため、協議しながら早急に補修していきたい。

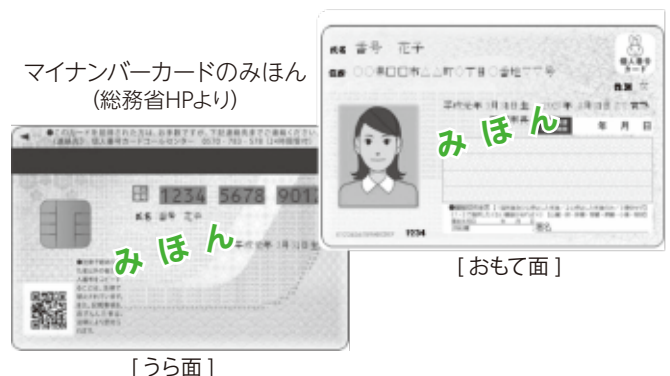
町民サービス・福祉

主なつかいみち

戸籍住民基本台帳費	4975万円	(1427万円)
障害者福祉費	3億1636万円	(1408万円)
保育所費	2億7535万円	(2106万円)
子ども医療対策費	4983万円	(220万円)

保育所・幼稚園の再編を含め、認定こども園の方向性は
問 マイナンバーカードにポイントが付くため、早急な周知が必要と考えるが。
町民サービス班長 今年度はプレミアムポイントに伴い、マイナンバーカードの申請が増えるの見込んでいます。3月から保険証として使用できる予定なので、更新時期と合わせ、カードの申請用紙も同封し、今まで以上に周知していく。
問 民生委員の後任が決まらないとの話を聞くが、定年はあるのか。
福祉班長 民生委員は、基本的に75歳と

なっているが、地域からの信頼等があれば継続は可能となっている。現在、75歳以上は8名である。
問 認定こども園開設に向けた方向性は。
こども支援班長 社会福祉協議会で運営する認定こども園は、早くして令和5年度供用開始である。認定こども園は郊外なので、市街地に保育所はあっても良いので、高城保育所は改修・改築し、残す方向である。



下水道・水道事業

主なつかいみち

下水道事業特別会計 18億2533万円 (▲1億5102万円)

水道事業会計 14億7759万円 (2億9658万円)

問 水道料金が低い。他自治体との差はなぜか。
経営班長 松島町は仙南仙塩広域水道・大崎広域水道・二子屋系があり、浄水場の維持管理費もあるため、単

問 磯崎区菱又地区周辺は浸水被害が大きいが、その対策は。
水道事業所長 磯崎第2雨水ポンプ場を建設しているが、台風時は建設中であった。長田雨水ポンプ場と同じに稼働すれば、現状では問題ないと考えられる。ただし、設計降雨強度を超える際は避難しなければならない。

大雨による浸水被害対策は

問 磯崎区菱又地区周辺は浸水被害を勘案すると料金へ影響がある。
問 みやぎ型管理運営方式へ移行すると、水道料金は安くなるのか。
水道事業所長 3月中旬以降に公募が開始され、上水・工水・下水が三位一体となる。供給料金が下がるのではないかとされているが、実際は分からない。



解体される中学校のプール

教育・文化

主なつかいみち

小学校管理費 5740万円 (298万円)

中学校管理費 2827万円 (▲171万円)

文化財保護費 2231万円 (▲37万円)

幼稚園費 8188万円 (▲888万円)

問 体育館が避難施設となっているが、備蓄品の把握は。
教育次長 町の備蓄品はテレビと緊急用電話だけで、それ以外は児童生徒専用である。災害の際は、備蓄倉庫から毛布等をトラックで運ぶ。備蓄状況は総務課と情報共有していく。
問 中学校のプール解体後の跡地利用は。
教育班長 新たな構築物は考えていない。

災害時における学校の備蓄品について、総務課との情報共有をしているのか

問 中学校の水道改修のスケジュールは。
教育課長 主に生徒がいない夏休み及び土日に行くが、今回は飲み水だけで、トイレの排水は既設の管を使用する。



磯崎第2ポンプ場

特別委員会からの意見・要望

予算審査特別委員会を開き、第1分科会（総務経済常任委員会）、第2分科会（教育民生常任委員会）に分かれ、令和2年度一般会計予算と特別会計予算、水道事業会計予算について、5日間の審査を行った。

その結果、以下の意見・要望等を集約して、町長に提出した。



予算審査特別委員会 緑山市朗委員長

投票率向上への取り組みについて

期日前投票の手続きの簡便化など、投票率向上に向けた制度改正を関係機関に働きかけられたい。

町独自の定住支援策について

震災復興に係る定住支援策が本年度で終了することから、町内外の若者が移住・定住しやすい住環境を整えるため、町独自の支援策を講じられたい。

新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルスによる感染拡大に伴い、主要産業である観光業への影響が極めて大きくなっている。国・県と緊密な連携を図り、関連する業種も含めた経済的な支援策を講じられたい。

合併処理浄化槽設置推進について

本町のし尿処理量は、塩釜環境センター処理量の約8割を占め、年々その割合が高くなることに比例して、し尿処理の管理運営負担金が増加している。環境衛生の観点からも公共下水道処理計画区域外での合併処理浄化



投票所の様子

槽設置推進が極めて重要であり、設置及び維持管理費用について、町独自の支援策を講じられたい。

中・長期の財政計画の作成について

令和2年度の当初予算は、財政調整基金や減債基金等を取り崩すとともに、庁舎建設基金を30

00万円減額するなど、財政状況が厳しい中で編成となっている。このような財政状況が続くことになれば、長期総合計画等に示された各種事業が計画的に実施できない恐れもある。

計画を確実に実施するためには、財務課が主体となり企画調整課や各種計画の所管課と連携し、中・長期の財政計画を作成するよう求めたい。

農業振興策について

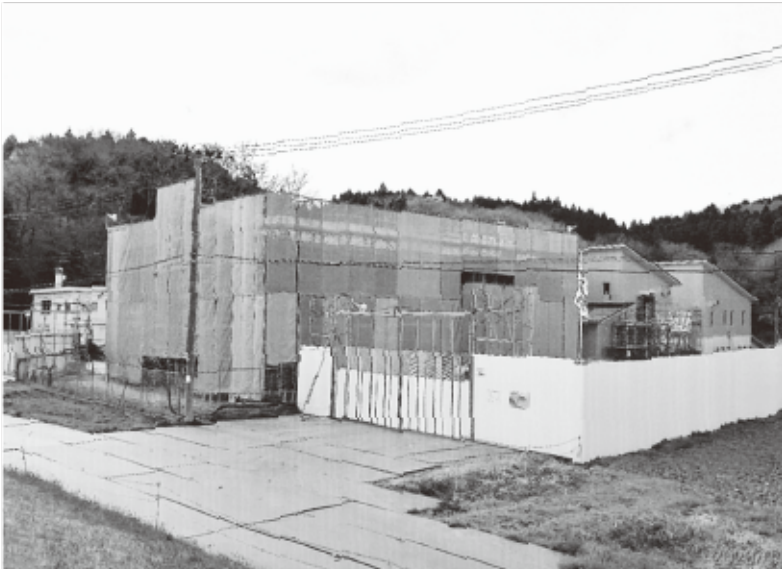
農業振興地域以外の農地（水田）の荒廃を防ぐため、特産品づくりが可能となるような「畑地化」を推進されたい。

水道事業の周知について

本町の水道料金は他町村と比較し、高いとの町

民の声があるが、インフラ整備や広域水道料金の県内統一価格からの人口割によるものである。

本町の水道は、3つの受水源があるため、東日本大震災では他自治体よりいち早く普及できた。この事を町内外に広く周知すべきである。



生まれ変わる二子屋浄水場の建設現場

マイナポイント事業について

令和2年9月より、マイナポイントカードを利用したポイント還元が行われる。また、保険証としても使用できるようになるため、普及促進はもちろん、しつかりとした周知が必要である。また、高齢者や障がい者への手続きや詐欺対策への配慮も行うべきである。



前は田んぼだった農地

幼児保育施設について

不安に思っている。子育て世代の安心感につながるよう、ロードマップを早急に示すべきである。



初原（石清水・樋田）地区の排水路整備について

初原（石清水・樋田）地区の水路改修工事が令和元年から3ヶ年計画で実施している。

当該地区では豪雨時、水路の形状から浸水被害が起きていることから、将来にわたって地区住民の安心・安全のため、分水による排水路の整備を含め、抜本的な対策を強く望む。



現在の初原地区排水路

東京オリンピック聖火リレーの取り組みについて

6月21日にオリンピックの聖火が、文化観光交流館から完成した松島大橋を通り、海岸広場までリレーされる。

東日本大震災からの復興をアピールするためにも、町を挙げて機運を高めるよう望む。
*東京オリンピック・パラリンピックは開催延期となり、今年の聖火リレーは中止となりました。



一般会計予算

討論

反対

今野 章 議員

町長は、消費税による施設の維持管理経費の増加に伴い利用料等を見直すから、まず消費税増税に反対し負担増から住民の暮らしを守るべきである。

法人税割の税率見直しで本町では約1165万円の減収となる。消費税増税に伴う財源措置によるもので、消費税を地方財政の主財源にすることは反対である。

消費税増税の強行のため、幼・保育の無償化が始まったが低所得世帯の恩恵が少ない。また、幼・保、小、中学校の給食費値上げではなく無償化に向かうべきである。安定した保育環境や保育経験の継承の意味からも正規職員の確保が必要である。

後継者不足が深刻な農業や漁業など一次産業への支援を強化することが必要であり、生産農家の育成が求められている。

賛成

澁谷 秀夫 議員

令和2年度の当初予算は、前年度に比べて金額では8億4800万円減の86億8800万円となっている。本町の財政見直しは、施政方針で示されている通り、生産年齢人口の減少、税制改正による減収見込み等により、町税の増収が期待できない中、社会保障費の増加、各施設の維持管理等による義務的経費や経営経費が増大する傾向にある。また、「松島海岸駅

整備事業」や「認定こども園建設」等複数年に渡る大規模事業の実施に伴う多額の予算が見込まれており、依然として厳しい財政状況の下、町政の運営が求められる。

町は、次世代に負担を先送りしないよう効率的かつ効果的な行政運営を徹底し、事業の選択と集中を図るとしている。

それぞれの事業が、計画に添って積極的に遂行されることを望む。

国民健康保険特別会計予算

反対

今野 章 議員

国保は、加入者の高齢化が進展し加入者数が年々減少している。また、国保税の法定減免世帯は全体の約6割で、軽減を受けた世帯で税の滞納が生まれるなど、担税能力を超える重い負担が求められている証左になっている。

国は、1984年の国保への定率国庫負担の削減を皮切りに、国保に対する国の責任を後退させてきた。また、この間に加入者の貧困化・高齢化が進み、現在の高い保険料の要因となっている。

この国保の構造的危機の打開には、国庫負担を増やすほかない。町長は、国保や協会健保、組合健保などの医療保険間の不公平の是正と国庫負担の増額を国に強く求めると共に国保税の大幅引き下げと子どもの均等割の負担軽減を実現すべきである。

国保制度への加入者の多くは高齢者や低所得者であることから、財政力が弱いのが現状である。国民健康保険制度が都道府県単位化となり3年目を迎える。県と連携を強めながら、資格の管理や保険給付等、地域におけるきめ細かな事業を推進することが大切になる。

賛成

後藤 良郎 議員

この都道府県単位化により、国民健康保険税の負担が増加する世帯に対し、少しでも負担を軽減するために、財政調整基金を充当しながら、激変緩和に対応した対策を行うことになる。

また、国民健康保険者の健康を維持又は増進をさせるためにデータヘルスケア計画に基づき、糖尿病重症化予防や生活習慣病予防などの保健事業を推進していくこととしていく。あらためて、国保税の収納率の向上や特定健診等の受診率の引き上げを望み、賛成の討論とする。

また、国民健康保険者の健康を維持又は増進をさせるためにデータヘルスケア計画に基づき、糖尿病重症化予防や生活習慣病予防などの保健事業を推進していくこととしていく。あらためて、国保税の収納率の向上や特定健診等の受診率の引き上げを望み、賛成の討論とする。

後期高齢者医療特別会計予算

反対

今野 章
議員

後期高齢者医療制度は、75歳以上の人口が増えると保険料が上がる仕組で保険料が上昇している。一方、消費税増税やマクロ経済スライドによる受取年金の減少、年金から天引きされる保険料の増加など、高齢者の暮らしは圧迫されるばかりである。

また低所得者に対する保険料の軽減措置が廃止され、令和3年度以降は7割軽減のみとなる。

さらに窓口2割負担が令和4年にむけ狙われており、必要な医療が経済的理由によってますます受けにくくなる。

高齢者の健康と命を脅かす負担増を許さず、この医療制度を廃止し、元の老人保健制度に戻し、際限ない保険料アップの仕組みをなくして、高齢者が安心して医療を受けられるようにすべきである。

賛成

杉原 崇
議員

後期高齢者医療制度は、長年尽くされた高齢者の方々が安心して医療を受け続けられるよう、社会全体で支える制度で、現役世代と高齢者の社会全体で支えあう制度として開始されたものだが、10年以上が経過し、現在は安定した運営がなされており、今後も高齢者が安心して医療が受けられる体制を堅持しなければならぬ。

本町の高齢化率は今後さらに高くなることと予測され、この制度の利用者も増えることが予想される。

令和2年度の予算は昨年より5・5%の伸び率であるが、町の歳入歳出の見込み経費は義務的経費がほとんどを占め、運用は全て宮城県後期高齢者医療広域連合に委ねられている。

今後も町内の高齢者の方々が安心して医療を受けることができるよう、広域連合と緊密に連携を図りつつ、当局が今後とも被保険者の方々のために努めることを期待し、賛成討論とする。

予算審査特別委員会

現場確認

初原地区水路改修工事（初原字樋田地内）の施工予定地を確認しました。（3月13日）



令和2年 第1回 定例会 提出議案

(条例7件、補正予算8件、当初予算9件、議員提案1件、その他4件)

議員提案第1号 「ライドシェア」と称する「白タク」行為の容認に反対する意見書について

「ライドシェア」と称する「白タク」行為の容認に反対する意見書の内閣総理大臣等への提出

議案第7号 松島町子ども・子育て支援事業計画第二期の策定について

令和2年度から5年間の町の子ども・子育て施策の方向性及び目標等を定めるもの

議案第8号 松島町地域経済牽引事業を促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について

地域経済牽引事業推進地域の固定資産税の課税を減免する条例の制定

議案第9号 松島町監査委員条例の一部改正について

条ずれに係る字句の改正並びに決算に係る審査及び例月出納検査について現状に則し行う改正

議案第10号 松島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

成年被後見人に係る印鑑の登録申請を受けることができるとする条例の一部改正

議案第11号 語学指導等を行う外国青年の給与及び旅費に関する条例の廃止について

国際交流員及び語学指導助手が会計年度任用職員となることに伴う条例の廃止

議案第12号 固定資産評価審査委員会条例の一部改正について

法律の一部改正に伴う文言の整理

議案第13号 松島町文化観光交流館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

松島町文化観光交流館大ホールの町外利用者の使用料の見直し及び文言の整理等

議案第14号 松島町水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

法律の一部改正による条項ずれに係る字句の改正

議案第15号 令和元年度松島町一般会計補正予算(第7号)

各事務事業の精査、事業費の確定等による補正

議案第16号 令和元年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

財源精査による財政調整基金繰入金を減額する

議案第17号 令和元年度松島町介護保険特別会計補正予算(第5号)

財源精査による財政調整基金繰入金を減額する

議案第18号 令和元年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

事業費の精査による介護保険特別会計への繰出金の減額

議案第19号 令和元年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第4号)

災害補償費の補正並びに財源の精査による財政調整基金の積立金等の補正

議案第20号 令和元年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第5号)

財源の精査による一般会計繰入金の減額

議案第21号 令和元年度松島町水道事業会計補正予算(第2号)

建設改良事業の精査による負担金及び事業費等の補正

議案第22号 令和2年度松島町一般会計予算

議案第23号 令和2年度松島町国民健康保険特別会計予算

議案第24号 令和2年度松島町後期高齢者医療特別会計予算

議案第25号 令和2年度松島町介護保険特別会計予算

議案第26号 令和2年度松島町介護サービス事業特別会計予算

議案第27号 令和2年度松島町観瀾亭等特別会計予算

議案第28号 令和2年度松島町松島区外区有財産特別会計予算

議案第29号 令和2年度松島町下水道事業特別会計予算

議案第30号 令和2年度松島町水道事業会計予算

議案第31号 工事請負契約の締結について

工 事 名 町道磯崎・高城町駅線避難道路整備工事
 契約金額 80,300,000円
 契約相手 (株)大志工業

議案第32号 工事請負契約の締結について

工 事 名 町道華園団地幹線外避難道路整備工事
 契約金額 54,967,000円
 契約相手 我妻建設(株)

議案第33号 工事委託に関する変更協定の締結について

協 定 名 仙石線高城町・手樽間第2磯崎踏切拡
 幅工事委託に関する協定
 変更協定額 106,359,501円
 協 定 相 手 東日本旅客鉄道(株) 仙台支社

議案第34号 令和元年度松島町一般会計補正予算(第8号)

教育費国庫補助金及び教育債の補正

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員候補者に齋藤一枝氏を推薦

令和2年 第1回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）
 ○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 ※阿部幸夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議決月日	採決結果	杉原 崇	櫻井 靖	緑山 市朗	赤間 幸夫	高橋 利典	片山 正弘	澁谷 秀夫	今野 章	太齋 雅一	後藤 良郎	菅野 良雄	高橋 幸彦	色川 晴夫	阿部 幸夫	賛成	反対	
議案第8号	3月9日	多	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第22号		多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第23号	3月18日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第24号		多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	12	1
諮問第1号	3月6日	適任															-	0	0

【賛成全員】

議案番号	議決月日	議案番号	議決月日	議案番号	議決月日	議案番号	議決月日
議案第7号	3月9日	議案第14号	3月9日	議案第20号	3月9日	議案第29号	3月18日
議案第9号		議案第15号		議案第21号		議案第30号	
議案第10号		議案第16号		議案第25号	3月18日	議案第31号	3月9日
議案第11号		議案第17号		議案第26号		議案第32号	
議案第12号		議案第18号		議案第27号		議案第33号	
議案第13号		議案第19号		議案第28号		議案第34号	3月19日

提出議案

議案 審議

子ども・子育て支援 事業計画を策定

第2期

松島町子ども・子育て支援事業計画（第二期）の策定

質疑

今野章議員 町の合計特殊出生率は全国や県の平均より低い1・29だが、「子ども・子育て会議」での議論の状況は。

町民福祉課長 開発等がなければ減るという認識で、新計画に示された医療費助成、幼・保の再編など、子育て世代が松島で暮らしやすい対応が必要と考えている。

今野章議員 2022年までに子ども家庭総合支援拠点の設置が求められるが、具体化は進んでいるか。

町民福祉課長 拠点は、児童虐待に対する縦割行政の解消・調整機関であり、町では随時ケース会議等を開き、個別ケースに対応しており体制が大きく変わることはない。

赤間幸夫議員 子ども家庭総合支援拠点での各課の相互調整・進捗管理の所管課はどこに置くか。また、計画の情報提供などはどうするのか。



高城保育所

議案審議



質疑

松島町地域経済牽引事業を促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定

今野章議員 県の観光産業基本計画に基づく事業計画の数はいくつか。

また、松島町における事業計画の具体的内容と承認日はいつか。

企画調整課長 県内の承認件数は3件。「松島離宮」の基本計画承認日は平成31年2月28日付である。

内容は「松島湾グランド基本構想」の拠点施設として観光情報の発信インバウンドの推進も捉えた仙台空港との連携。施設単体の売上目標は1億6200万円。最低雇用数が正社員4名、パート社員10名。付加価値額8900万円の創出などで6月下旬オープンを目指している。

色川晴夫議員 「離宮」の運営はほとんどテナントが入るのではないか。現時点で知り得るところを聞きたい。

企画調整課長 現在、物産店、レストラン・居酒屋系列の店舗、ファーストフード店、雑貨屋の各1店舗という情報を得ている。

片山正弘議員 「離宮」の所在地は松島本社となるのか。町内の他の2事業所などと合算した決算方法をとるのか。

企画調整課長 運営形態は、今後の申請になるが、現在、県に承認をとっているのは本社がある蔵王町である。
財務課長 町内の2施設は、別法人名で町内に本社を置いている。

渋谷秀夫議員 ファミリーサポートセンター事業は協力会員が少ないのが課題である。契約や手続が難しいのではないか。
町民福祉課長 協力会員は6名。会員に必要な研修等があり、伸びない要因と考える。研修の時間や内容等を検討したい。

賛成全員・可決

賛成多数・可決

文化観光交流館・大ホール 町外者の使用料2倍へ

松島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

質疑

色川晴夫議員 「成年被後見人に法定代理人が行っており……」という説明だが、家族の同意や許可、法定代理人の決定、申請までの手順は。

町民福祉課長 この改正は、窓口で成年被後見人と後見人が同伴した場合に「被後見人が意思能力を有する」とみなし、印鑑登録を受け付けるもので、窓口以前の話は想定していない。

賛成全員・可決

語学指導等を行う外国青年の給与及び旅費に関する条例の廃止

質疑

杉原崇議員 廃止は、外国語指導助手などが会計年度任用職員となるためだが、長期総合計画の実施計画では、国際交流員の雇用が令和2年までである。雇用期間と新年度予算の減額の理由は何か。

産業観光課長 国際交流員の任用期間は令和2年8月2日までのため予算も減となる。今後は、インバウンド施策の対応を見ながら検討したい。

賛成全員・可決

松島町文化観光交流館の設置及び管理に関する条例の一部改正

質疑

櫻井靖議員 大ホールを町外者が利用する場合、2倍の使用料で最大18万円と高額すぎないか。入場料などで町民の不利益になるのではないか。

教育次長 町外の大ホール利用は平成30年度で43件。町内の利用は273件である。見直しでは近隣施設も調べ、同程度の金額とした。今後の施設の修繕や消費税増税分を勘案したもので、教育委員会や町と共催した場合減免規定の適用も考えられる。

今野章議員 大ホールの空調は、可動席上段が暑く、下段は寒い状況が改善されていない。使用料見直しに際し、空調も含め設備の充実が必要なのではないか。

教育次長 空調は、業者を呼び確認を行い、冬場はタイマー機能で早朝から暖房をオンにするなど工夫しているが、大がかりな修繕は難しい。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結
〔町道磯崎・高城町駅線
避難道路整備工事〕

質疑

杉原崇議員 磯崎の稲荷神社付近は、日中も暗く防犯対策が必要では。

建設課長 現地は拡幅・切土、コンクリート吹き付けすることで草木が生えない形になり、鬱蒼とした状況は改善できる。

賛成全員・可決

色川晴夫議員 復興事業の請負は殆ど町外業者。今回の規模であれば町内業者でも可能ではないか。地元業者育成の考えは。

建設課長 地元業者が請負える条件だが、従業員、技術者、機械等の関係で多くの工事をとれる状況にはない。

片山正弘議員 用地買収の件数及び擁壁や一般住宅等に影響する件数は。

建設課長 用地買収は15ヶ所。住宅及び工作物に係る箇所は各々7ヶ所である。



松島町文化観光交流館



町道磯崎・高城町駅線

小中学校児童生徒にパソコン



1人に1台

令和5年度までに



令和元年度

松島町各種会計補正予算

金額は補正額

一般会計補正予算
(第7号)

●災害救助経費

1億4016万6千円

●強い農業担い手づくり

総合支援交付金事業

3137万5千円

●町立学校情報通信ネット

トワーク環境施設整備事業

(小・中学校)

1億1943万5千円

質疑

杉原崇議員

学校が休校になり、オンライン学習が勧められている中で、今後1人1台のタブレットを導入できた際に、子供達が持ち帰り、学習や宿題などに使用できるようにする考えは。

教育長

今回のiPadはリース契約であるが、壊れた場合の扱い方や、次年度の使用なども含め、検討していかなければならない。

今野章議員

プレミアム商品券事業の施行率がかなり低かったようだが、なぜか。制度設計が良くなかったのではないか。

町民福祉課長

対象が非課税世帯・子育て世帯3800人を予定していたが、実績は1464人、約40%であった。再通知もしたがあまり思わしくなかった。制度の使いにくさ、そして消費税増税の影響もあったのかもしれない。

今野章議員

危険ブロック塀の除去作業の40%減額の理由は。

危機管理課長

1ヶ所当たり25万円で10ヶ所の予定だったが、実施は6ヶ所、坪単価が12万円と安かったためである。

高橋幸彦議員

台風19号による流出稲わらの処理状況は。

総務課長

全部で7700トンあった。処理方法

色川晴夫議員

としては、焼却処理、牛フンなどを混ぜての堆肥化、もうひとつはセメントの焼却の燃料の代わりにする。仮置場に集積したものについてかなり処理は進んでいるが、最終的には今年10月頃までかかる見込みである。

色川晴夫議員

航空写真の撮影経費について。

財務課長

固定資産税の評価がえに伴い3年に一度塩釜地区二市三町合同で撮影しているが、面積按分で負担金を出している。今回の事務局は七ヶ浜だったが、入札の結果安くあがるので予算減額となった。ちなみに松島分は53・5km²、36%である。

色川晴夫議員

児童福祉扶助費がかなり少なくなったが理由は。

町民福祉課長

当初、月換算で1236人と予定していたが、1190人

色川晴夫議員

住宅環境整備費がかなり減ったが、

企画調整課長

住宅再建の土地のかさ上げのための補助金であるが、10件



流出した稲わらの撤去作業

と46人減る見込みである。それだけ子供の数が実質減少したためである。を想定していたが、震災から9年も経過したゆえか実際の申請が1件しかなかったためである。

菅野良雄議員 合併浄化槽設置数が見込みよりも減ったのはなぜか。宣伝が足りなかったためではないのか。

水道事業所長 広報や相談受け付けも行なったが、10基の予定が最終的には4基となってしまった。

賛成全員・可決

介護保険特別会計補正予算(第5号)

質疑

今野章議員 介護施設入

所希望者が増えていると思うが、施設は不足していないのか。

健康長寿課長 施設が十分足りている訳ではない。よって居宅サービスや短期入所対応している。入所希望の待機者は現在14名である。



今野章議員

町内に地域密着型の小規模施設が多くあるが、経営が厳しいと聞く。高齢化も進んでおり、大規模施設も必要となってくるのではないのか。

町長 広域的な大規模施設をつくるとなると、介護サービスの利用料がはねかえって上がることになるが、二市三町の首長と相談してみたい。

賛成全員・可決

下水道特別会計補正予算(第4号)

質疑

後藤良郎議員 初原地区の下水道整備の見通しは、

水道事業所長 今回の実施設計は愛宕周辺についてのものだが、国からの補助の関係もあって一気に進めるものは難しい。概ね3年から4年を見込んでいる。

賛成全員・可決

追加提案 一般会計補正

国の補助金が減額

一般会計補正予算(第8号)

質疑

赤間幸夫議員 国のギガスクール構想に基づき、令和5年度までに小中学校に児童生徒1人に1台のパソコンを整備する。ただ当面は3人に1台の整備のため国から約45%の補助金が来る(残りは起債でまかなう)ということ、3月9日の本会議で補正予算を可決したところである。ところが急遽その補助金が約15%に減額されたのはなぜか。

教育次長 庁内にも激震が走った。1校当たり3000万円上限の補助金ということ、本町には4校合わせて約5400万円が来る予定だったのが、約1800万円に減額された。ゆえに起債を約6500万円としていたのが、約1億円に増額になった。そのため財源更正となった。

賛成全員・可決

人事

人権擁護委員

○ 齋藤 一枝氏 68歳

(松島町高城)

同意

令和2年 第1回 臨時会 提出議案 (2月3日)

(補正 4 件、その他 2 件)

議案第1号 工事請負契約の締結について

工事名 農道弁天1号線舗装補修工事
契約金額 54,659,000円
契約相手 我妻建設(株)

議案第2号 工事請負契約の締結について

工事名 町道手樽・富山駅線舗装補修工事
契約金額 44,847,000円
契約相手 我妻建設(株)

議案第3号 令和元年度松島町一般会計補正予算(第6号)

台風19号に伴う災害復旧事業に関する経費等について補正

議案第4号 令和元年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

一般保険者療養給付費等の実績見込みに伴う精査による補正

議案第5号 令和元年度松島町介護保険特別会計補正予算(第4号)

施設介護サービス利用者増等による保険給付費を補正

議案第6号 令和元年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)

台風19号に伴う松島中継ポンプ場災害復旧工事に関する経費等について補正

令和2年 第1回松島町議会臨時会 議案採決結果

【賛成全員】

※阿部幸夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議決月日	議案番号	議決月日	議案番号	議決月日
議案第1号	2月3日	議案第3号	2月3日	議案第5号	2月3日
議案第2号		議案第4号		議案第6号	

令和2年 第1回 臨時議会

採決表

議案第1号
工事請負契約の締結
について

質疑

赤間幸夫議員 手樽駅付近の仙石線アンダーパスの排水側溝について、横断管渠の舗装は、

建設課長 アスファルト舗装を1回行い、試験的にグラスファイバー製のネットを入れたが、現地確認して実施する。また、暗渠管は高さを確認し影響ないよう施行していく。
賛成全員 可決

議案第2号
工事請負契約の締結
について

質疑

高橋利典議員 延長1320メートルの施行で、半断面700メートルだが、なぜ半断面なのか。

建設課長 海浜公園手前の海側で、歩道整備で半分が施行完了しており、今回残り半断面を補修する。

赤間幸夫議員 1号と2号議案は同じ業者が入札に参加している。落札した業者には辞退してもらい、ほかの業者が入札参加すれば工事短縮できるのではないか。
財務課長 一般競争入札で申し込みがあり、辞退してくださいとは言えない。入札参加資格の条件を満たしている。
賛成全員 可決

ビックリ!!

ふるさと納税3億円寄附

一般会計補正予算
(第6号)

●ふるさと納税費

3億円

●農地災害復旧費

1600万円

●農業用施設災害復旧費

5700万円

●公共土木施設災害復旧費

5220万円

質疑

今野章議員 台風19号で被災した箇所の事業は全部か。また、今後追加の予定はどうか。



台風19号被害(土砂が道路に流出)

建設課長 12月補正の農地の単独災害、今回の農業用施設、公共土木施設の補助分で補正は最後である。また、今後災害箇所の確認が出来れば追加していく。

赤間幸夫議員 県管轄の鶴田川関係について、補正または3月当初での対応になるのか。

建設課長 災害査定は終了したが、負担割合や大崎市、大郷町との負担割合の確定されれば、3月議会で補正になる。



浸水した不來内排水機場

今野章議員 ふるさと納税で3億円の寄附があつたが、その活用方法は

町長 この方は、これまでも年度分けてご寄附があつた。町のために活用してほしいということなので、今後検討していく。

菅野良雄議員 寄附していただいた方の確認はやっているのか。

財務課長 平成26年から5回寄附いただいております。返礼とかはお断りされている。

色川晴夫議員 台風19号での農業施設や公共土木施設で112ヶ所の工事で、これから農繁期に入りが入札の不調などにより工事遅れることはないか。

建設課長 発注については、災害防止協議会と協議しながら行うが、全部が一般競争入札でなく、早い方法をとっていく。
賛成全員 可決

国民健康保険特別会
計補正予算(第4号)

質疑

今野章議員 療養給付費で5500万円(5%増)と高額療養費2680万円(16.7%増)の補正だが、理由は。また高額療養とこれまでの流れと今後の見通しは。

町民福祉課長 増額の要因は、がん治療に係る高額な薬の薬剤、脳病疾患、心臓、透析等の治療が大変かつたのが理由である。
賛成全員 可決

下水道事業特別会計
補正予算(第4号)

質疑

赤間幸夫議員 災害復旧は原則、原状回復だが、松島中継ポンプ場復旧の内容は。

水道事業所長 基本は現状回復であるが、吸引ファンについては、下の位置に設置を考えている。
賛成全員 可決

町政Q&A

一般質問 ここが聞きたい！ 7人の議員が 11件について質問

杉原 崇 議員 (25ページ)	◆ 小中学生のスマホの使用について
櫻井 靖 議員 (26ページ)	◆ 正確で必要な情報をいち早く町民に ～新型コロナウイルス感染症から町民を守るために～ ◆ 世代間交流の場をつくれなにか
後藤良郎 議員 (27ページ)	◆ 「幼児教育・保育の無償化に関する実態調査」の 最終報告について
今野 章 議員 (28ページ)	◆ 女川原発の再稼働に反対の意思表示を ◆ 排水側溝の泥上げについて
澁谷秀夫 議員 (29ページ)	◆ 町民総スポーツの推進について
菅野良雄 議員 (30ページ)	◆ 非常用電源の燃料備蓄状況は如何に ◆ 公共施設等総合管理計画の進捗状況は
色川晴夫 議員 (31ページ)	◆ 新型コロナウイルス感染による観光業への影響 と今後の対策は ◆ 観瀾亭・松島博物館にトイレの設置を

※一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針等について説明・報告を求めるとともに、議員の提言・要望を行うこと



すぎはら 杉原 たかし 崇 議員

問 小中学生のスマホの使用について

答 子供達はもちろん、保護者の理解、意識の向上も大切である

問 当町における小中学生の携帯電話の所有率は。

教育長 昨年度、小中学生の携帯の所持率を調査した結果、小学3年生以上で33%、中学生全体では67%であった。持っていない子供が家族所有の端末を使う割合は、小学3年生以上で90%、中学生では91%となり、ほとんどの家庭でインターネットが使用できる状況であった。

問 スマホの長時間利用と視力や学力が相反していると言われているが、SNS等のインターネット利用時間を把握しているのか。

教育長 小学3年生以上での利用は平日1時間以内が57%、3時間以上が5%。中学生の利用は平日1時間以内が35%、1~2時間が28%、3時間以上が12%もあり、年を増すごとに、3時間以上利用する生徒が増えている状況である。

問 動画やゲームによるネット依存への対策は。

教育長 各学校において子供達にスマホ・携帯の安全教室を実施し、健全青少年育成松島町民会議では親子向けにネット依存への危険を警告する講習会を行っている。また、松島町PTA連合会ではチラシをつくり、各家庭に配付している。これらを通して、適切な運用を子供や保護者に理解してもらおうと努力している。

問 SNSを利用した犯罪被害が増え、またLINEグループによるいじめも報告されている中で、防止に向けた取り組みは。

教育課長 スマホ・携帯の安全教室を実施したり、学級指導の中でインターネットでの児童生徒間のトラブルについて考えさせる時間をつくっている。また、SNSによるトラブルの加害者にも被害者にもならないように、児童生徒の想像力、判断力、規範意識の醸成が必要不可欠だと考えているので、学校でも児童生徒への働きかけを今後継続して行っていく。

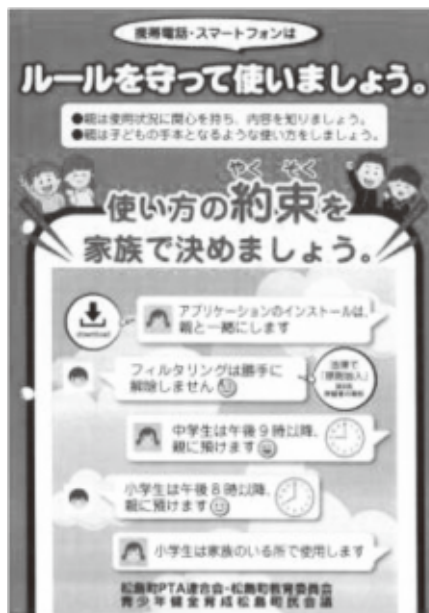
問 LINE等のSNSを利用した悩み相談の体制づくりを作っているかどうか。

教育長 宮城県教育委員会ですら本年度から宮城SNS相談という事業を始めており、町内の全児童生徒に、この内容をチラシ等でお知らせしている。こちらを利用して相談に思っている。

問 スマホやテレビ、ゲームなどの利用を控える「ノーマメディアデー」やスマホやパソコンなどのデジタル機器やインターネットから距離を置く「デジタルデトックス」を町全体として推進は。

教育長 ノーマメディアデーについては、町内の小学校では実施済みだが、小学校の実施にあわせて、保護者もスマホから手を放していただくという事を啓発していきたい。

中学生は、チラシにある、午後9時以降は親に預けるのを守ってもらうと同時に、保護者も午後9時以降スマホをやめるなど身をもって示し、親の後ろ姿でスマホの扱っていただく嬉しい。



松島町PTA連合で作成したチラシ

問

正確で必要な情報をいち早く町民に
～新型コロナウイルス感染症から町民を守るために～

答

さまざまな手段で日にする方法を考え
周知していく



さくら い やすし
櫻 井 靖 議員

健康長寿課長 新型コロナウィルス感染症に関する情報については、日々いろいろな情報が変わっており、大変周知のタイミングに苦慮している。情報が固まった段階で、必ず町民の方にお知らせしなければならない情報

問 新型コロナウイルス感染症に係る町の情報をホームページ、SNS、メールで配信しているが、デジタル配信だけでは、伝わらない方々がいるので、必要に応じて広報まつしまの号外の発行や主要な施設への情報掲示をすべきと思うがどうか。



松島町のホームページより

町長 新聞報道等を使っではという要望もあるので、今後検討していく。

問 松島では早い時期に妊婦さん等マスクを配っていた。そういったことをマスコミに取り上げてもらうなど、マスコミを上手に使った周知方法も町民対してはあると思うがどうか。

は、掲示やチラシ、広報、ホームページ、その他、町民の方がさまざまな手段で日にする方法を考え周知に努めていく。

教育長 動画で先生方の熱いメッセージがあれば勇気づけられるかもしれないという考えはあったが、教育委員会のホームページに動画を上げると動かなくなり、ユーチューブにリンクするとセキュリティに問題が生じることから動画以外のツールで考えていきたい。

問 動画による情報発信は考えられないのか。町長が直接訴えたり、学校の先生が在宅の子供たちにメッセージを送ることがあれば不安を解消する効果があるのではないか。

一般質問

町長 子供たちとのタウンミーティングはなかなか難しいが、生徒会役員の子供たちと学校のことでも話し合うことがあってもいい思っている。そこから将来に向かっての希望などが見い出せるかもしれないので、今後そういったことも考えていきたい。

問 子供たちの目線から見えてくる我が町の改善点があると思う。子供たちとタウンミーティングをやってみてはどうか。

答

大人と子どもの架け橋となる
ジュニアリーダーを育成していく

問

世代間交流の場をつくれな



問 生涯学習等を通じて、若い世代とシルバー世代が交流する場はつくれないか。また、生涯学習を企画する人材を育てていただければならないと思うがどうか。

教育長 世代間の交流を企画できる人材は、大人と子供のかけ橋を担うジュニアリーダーではないか思っている。世代間交流の中間のジュニアリーダーの育成ということで教育委員会としてサポートしていければと思う。



ごとうよしろう
後藤良郎 議員

問 「幼児教育・保育の無償化に関する実態調査」の最終報告について

答 保護者や保育従事者が要望する子育て支援策を進めていきたい

問 保育の質の向上について、保育の質を担保する人材の確保が何よりも大切である。調査において、事業者から幼稚園教諭、あるいは保育士の人材育成、確保への支援を求めることが圧倒的な内容である。調査票の自由解答欄には、若手の定着率が低いとの声も多数ある。これらを踏まえてどうという認識を示されるのかお聞きしたい。

町長 アンケートを拝見したが、約9割が肯定的であり、保護者の経済的負担の軽減に大変効果的であったと理解している。ただし、保育の質の向上や受け皿の整備なども含め、多くの課題が残されていることも認識している。

町民福祉課長 質の向上を図るために、人材育成や人材確保が重要であると認識は持っている。また、若手の定着率が低いという点については、本町においても残念ながら同様の状況にある。

問 事業者に保育の質の向上のために必要な政策を聞いたところ、処遇改善がトップであった。このことについての考えは。

町民福祉課長 臨時職員については、時給の増額や交通費支給など改善を図ってきた。離職した有資格者なども臨時職員として雇用している。また再任用、あるいは保育所に以前勤めていたOGの方なども臨時職員として雇用している。今後、処遇改善等の職場環境について改善に努めていきたい。



高城保育所

問 経理や申請手続などの事務負担を軽減することが課題に上がっている。茨城県の取手市の取り組みを紹介させていただく。

保育士の負担を軽減し、保育の質を向上させるために取手市では市内に6カ所ある市立保育所で帳票作成や登降園管理などの事務作業を電子化し、大幅な時間短縮を目指している。

本年1月に市立の某保育所に子供施設向けICTシステム「コードモン」を導入、来年3月までに全保育所にICTシステムを取り入れる。電子化により3分の1に時間が短縮される。本町としてもICTシステムを取り入れるべきではないか。

町民福祉課長 保育業務の負担軽減のために、ICTの導入について研究してまいりたい。

問 0歳から2歳児の無償化の対象拡大や待機児童対策の要望が多く寄せられている。このことについてどう考えるか。

町民福祉課長 当面は0歳から2歳まで対象を拡大せず、3歳から5歳を対象とした無償化を継続する考えである。待機児童対策については、令和2年度4月1日時点で4名いることから、引き続きその解消に向けて対応していきたい。

問 障害のある子どもの教育・保育の充実や、働き方が多様化する中で、夜間保育のニーズが高いことわかった。これらについてどう取り組まれるのか。

町民福祉課長 障害のあるお子さんについては、発達相談や巡回相談を実施し、専門的な助言・指導を行っている。また発達障害児者支援開発事業のびっこクラブを実施している。夜間保育については、利用希望がないことから実施の予定はない。



問 女川原発の再稼働に反対の 意思表示を

答 重い課題で、慎重に議論したい



あきら 今野 議員

問 原子力規制委員会が女川原発2号機の安全審査に合格をだしたが、世界基準に達しないとされる規制委員会の安全審査で十分と考えるか。

町長 新規制基準は、原発事故後に様々な項目で強化され、慎重に審査されたと認識している。しかし、具体的内容を聞いておらず判断には至らない。

問 UPZ圏内(注)の避難受け入れや安定ヨウ素剤の配布、町民・要配慮者の避難など原子力災害時の避難計画は万全か。

町長 災害時、石巻市の住民を品井沼環境改善センターなどで受け入れるため、原子力災害訓練等を通じ、国や県、関係市町と連携を深めていく。

問 地元自治体の同意について、対象範囲が狭いと思うが町長の考えは。

町長 同意は、まず村井知事が判断する場合、また知事が判断する場合、女川、石巻の考えが議論・整理され、UPZ圏内の自治体、そして県内の市町村が一堂に会して議論され結論が出ていくと認識している。

問 本町は観光と農業や漁業を基幹産業とする町である。平和で安全なところが町の発展に不可欠である。放射能リスク回避へ原発再稼働に反対すべきではないか。

町長 再稼働は相当重い課題あり、慎重に議論し町の考えを出すことが必要と思う。

(注)UPZ圏内とは
原子力発電所の施設の外側から、概ね半径30km以内の区域とされています。
〈原子力規制委員会が策定した「原子力災害対策指針」より〉



UPZ圏内に隣接する福島県飯館村
除染物が山積み (2015年11月撮影)

問 排水側溝の泥上げについて

答 4月から土砂撤去を 実施

問 町の雨量計で100mm以上の計測が出来なかったが、雨量計の更新は必要ないのか。

水道事業所長 雨量計の精度には問題はないが、100mmを超える場合の機械的部分で出来ることはないか確認したい。

問 排水側溝の断面確保の上で、堆積土砂の状況を把握することが大事だと思うがどうなっているか。

建設課長 現在、堆積状況の確認中で、3月中旬に完了させたい。4月から台風で浸水した区域でも堆積土砂の多い箇所より土砂撤去を実施したい。

副町長 降雨強度、降雨量は国の指針に基づいており、見直しは簡単ではないが、いま県と相談している。

建設課長 雨水を早くスムーズに幹線排水路まで流すため、側溝の断面及び勾配確保が必要で、排水機能に支障が出ないよう堆積土砂撤去等の適切な維持管理をしたい。



お 夫 議員
ひで 秀
や 谷
しげ 澁

問 町民総スポーツの推進について

答 子どもの体力、施設の安全性、関係団体との連携などを高め推進している

問 スポーツ庁が2019年度全国体力テスト結果を公表した。宮城県の結果は、小学男子（小5年）が過去最高の全国第28位、中学男子（中2年）が5年ぶりに全国平均を上回った。調査は、県内公立小中学校572校の3万6530人を対象に行われたものであるが、本町の結果について伺う。また、結果に対する評価と今後の取り組みについてはどうか。

教育長 テストの結果、小学5年男子と中学2年女子が全国平均を若干下回り、小学5年女子と中学2年男子が全国平均を上回った。今回の結果に基づき、長縄跳び、業間マラソンなどを年間計画に組み入れ各学校ごとに体力づくりに取り組んでいる。それと現在の児童

生徒は肥満と痩身二極化の傾向にあり、体力向上策として食育と生活習慣の見直しや運動の習慣化について家庭や地域と共に取り組んでいただくよう学校を通じて周知を図っている。



町民ふれあいスポーツ大会風景

問 指定管理者制度の運用効果もあり、スポーツ施設の利用者が年々増加している。既存の施設だけで充実したものとなっているのか。町民から要望が寄せられている施設としてパークゴルフ場、武道館、スケートボード場などがあるが、これらで検討されたことはあるのか伺いたい。また、施設の安全対策はどうか。

教育長 本町の人口規模からすると既存のスポーツ施設で十分と考えている。例として挙げたパークゴルフ場、武道館、スケートボード場などについては、建設費や維持費が多額となることは必ずであり、優先順位を考慮した場合、難しいものと考えている。

教育次長 施設の安全性については、管理計画の中で調査している。

問 障害を持つ人達のスポーツ普及は、どう進められているか。

教育次長 町主催の町民ふれあいスポーツ大会や仙台地区で毎年開催されている身体障害者の体育大会に参加しスポーツを楽しまれている。これからの取り組みとしては、障害者の方がスポーツをもっと楽しむために障がい合ったボランティアの方の協力、障がいに合ったケアの方法を考慮しつつ、実施して行く。



議員 良雄 野 菅

問 非常用電源の燃料備蓄状況は如何に

答 確保しているが事業所と調整必要

問 停電の長期化に備えて1週間程度は災害対応に支障が出ないよう非常用電源の燃料を備蓄することが望ましいとされている。備蓄量は消防法、建築基準法等により制限される場合もあり、あらかじめ燃料販売事業者等と優先供給に関する協定締結を検討することになっている。締結状況は。

危機管理監 平成10年に宮城県石油商業組合塩釜支部・黒川支部と応急燃料の供給に関する覚書を交わしている。

問 役場業務の継続を確保するために非常電源が必要というのが消防庁の考えである。1週間からできれば2週間程度は確実に発電できるように備えておく必要があるのではないか。

副町長 燃料は確保している。しかし、事業所ともしっかりとした調整をしていきたい。

問 業務継続の手引きによれば、大規模災害時庁舎が被災し利用できなくなった場合に備え、通信機器を備えた代替施設を設けることが理想とされているが、代替施設を確保しているのか。

危機管理監 津波や河川等の浸水を想定し、温水プール「美遊」を代替施設として位置づけている。自家発電装置を備えているが、防災行政無線・通信機器等は設置されていないので、石田沢防災センターを送信局として活用することになっている。



代替施設となる「美遊」

問

公共施設等総合管理計画の進捗状況は

答

地域と相談しながら進める

問 公共施設等総合管理計画は、公共施設の老朽化、耐震性等から喫緊に対応すべき管理方針を示すものである。併せて、施設の適正配置と財政負担の平準化が目的である。膨大な財源をどう確保するのか。

町長 計画に合わせ数の適正化を図っていく。令和2年度予算には、愛宕住宅4軒及び中学校プールの解体等を計上している。財政と協議しながら優先順位を考えて進めたい。



解体される中学校プール

問 遅くなるほど経費が高む。スケジュールを明確にして進めないと、計画倒れになってしまうのではないかと進めることを検討してはどうか。

町長 放射光施設誘致は産官学一体の実例である。築年数・施設の有効利用等、総合的に勘案しながら進めていきたい。



解体される愛宕公営住宅

問 計画期間が長過ぎると実感がなくなると理念のみの計画になってしまう。この事業は、交付税措置があり事業債も認められている。早目に取りかかっていただきたい。

副町長 統廃合の基本的な考え方も含め、地域と相談していきたい。令和2年度進めていく。



いろ かわ はる お
色 川 晴 夫 議員

問 新型コロナウイルス感染による観光業への影響と今後の対策は

答 5億円超す影響額 今後県と歩調合わす

問 中国で発症した新型コロナウイルスによる感染は世界中に広がり、甚大な影響をもたらしている。

松島町の主要産業である観光業への影響も目を追って多くなり、予約の取り消しが相次ぎ悲鳴をあげている。このような状況下で、町は観光商工関係者にどのような対策や支援を考えているのか。そこで、観光業に対する影響はどの位か。

産業観光課長

3月16日

現在でキャンセル人数と影響額は、ホテル関係で3万5000人で5億3000万円、観光施設は同じく3万5000人以上で影響額は解らない。



いつもは観光客で賑わっている棧橋

問 新型コロナウイルス感染症の影響で店の存続と従業員の雇用を守るため、国・県より支援策があるが町に問い合わせ、相談は何件位来ているのか。

産業観光課長

相談件数は7件で今後、銀行と融資について、観光関係者に説明会を開く予定で進めている。

東日本大震災よりひどいと感じている。課題はあるが国内のお客様をまた松島に呼びよせ、県の指導を仰ぎ広域で観光戦略に取り組んでいく。

問 町独自で子利補填などの支援を検討しては。

町長

今後、国の支援が出てくることから、その情報を早く関係者に周知することが今の立場である。

問 終息後、松島観光をどう発信するのか。

町長

東日本大震災よりひどいと感じている。課題はあるが国内のお客様をまた松島に呼びよせ、県の指導を仰ぎ広域で観光戦略に取り組んでいく。

問 観瀾亭・松島博物館にトイレの設置を

答 文化財の関係でかなり難しいと思うが、検討させてほしい

問 貴重な文化財である観瀾亭でお抹茶を楽しむ方が増えている。しかし、お客様のトイレがなく、お客様からの問い合わせにも困るのではないか。お客様が快適に利用できるためにも、トイレを設置すべきと思う。そこで、現在、お客様のトイレはどこを利用しているのか。

産業観光課長

レストハウス、またはグリーン広場のトイレをご案内している。

問 観瀾亭等特別会計の財政調整基金を使い、トイレ整備を。

町長

文化財の関係でかなり難しいと思うが、検討させてほしい。



観瀾亭

広報広聴常任委員会

広聴分科会 — 視察研修報告書 —

【期 日】

令和2年2月6日(木)

【研修先】

福島県喜多方市議会

【研修目的】

議会と住民との意見交換会（議会報告会）の実施状況について

【研修概要】

喜多方市議会は、市民の多様な意見を把握し、議会機能の強化に努め、市民生活の安定および福祉の向上ならびに市政の発展に繋げ、議会をより身近に感じていただけるよう平成24年から平成26年まで22人の委員を4班に編成し、活動報告・質疑・懇談形式で意見・要望等を聴取し、会場で回答・当局への見解を求めた事項を議会だよりに掲載して報告としている。令和元年まで8回開催し、平均71名の参加者となっている。

平成29年に「話しやすい雰囲気づくり」のため

に4班から3班に編成、

参加者は4〜5人ずつに分かれ、テーブルごとに対話をするといったもので、一定の時間が過ぎればテーブルのメンバーを入れ替え、対話することになり、「ワールドカフェ方式」を試行した。

平成30年には、地域に関わるさまざまな立場の人が参加しての体験型講座という意味を持つ「ワークショップ形式」に改め開催している。いただいた意見・要望等は、議会からの当局への政策提言の参考として活かしている。また、テーマ以外の意見・要望は、事項等を整理し、当局への見解を求め、確認を行い、その内容を議会だよりに掲載し報告としている。

【所 感】

当議会の報告会は、12回に至っている。参加人数は他の議会よりは多いものの、参加者の固定化により多様な意見・要望等が少なく、テーマを設定しての報告会にもかかわらずマッチングするテーマでないため、意見等はほとんど出ない地区もある。テーマ以外では当局に対する意見・要望がほとんどである。その内容について当局へ十分留意することを求め「議会報告会まとめ」として全世帯に配布している。今後の課題として、地域の課題に沿ったテーマの設定や雰囲気づくり、対話が弾む手法の検討を行い参加しやすく、語りあえる場の創出が必要である。その中から多様な意見を吸い上げ、政策提言へとつなぐ報告会を開催しなければならぬ。

【期 日】

令和2年2月5日(水)

【研修先】

栃木県那須町議会

【研修目的】

那須町議会議会広報特別委員会を訪問し、両町の議会広報紙がその後どのように改善されたか、

また、多くの町民に読んでもらえる議会広報紙作りについて再度意見交換を行い、より良い議会広報紙作りの参考にするため視察研修を行った。

【研修概要】

- ① 発行方針・理想
 - ② 編集で特に留意している点
 - ③ 一般質問を簡潔にまとめる
 - ④ 企画記事の掲載
 - ⑤ 議会広報モニターの委嘱
 - ⑥ QRコードの活用
 - ⑦ 傍聴者アンケート集計結果の掲載
- 等々について意見交換を行った。

【所 感】

那須町議会では、「議会広報モニター」を町民

広報分科会 — 視察研修報告書 —

に委嘱している。委嘱を受けた13人からは様々な意見が寄せられている。その意見を素早く議会広報紙に反映しており、モニターと編集委員との連携がとれている。また、議員が見落としがちな町民の意見や議員研修では学べない事項等が指摘されており、大変参考になった。

当広報分科会も「議会広報モニター」について検討すべき事項と考える。そして、議員へのインタビュー記事は、議員の人となりやユニークに紹介されており、町民にとって議会が身近な存在になるような企画を考えて行くべきである。また、QRコードをスマートフォンで活用し、情報提供することで広報紙は見やすく、手にとってもらいやすい紙面となっている。

どの議会もより良い議会広報紙を作成しようという思いは一緒であり、絶えず研鑽を積んでいる。

意見交換という場で話し合い、次のステップにつなげていくことは大変有意義なことである。こういった縁を大切にお互い切磋琢磨し、今後の議会広報紙の作成に活かして行きたい。



那須町議会にて（広報分科会）



喜多方市議会にて（広聴分科会）

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合議会

令和元年12月26日(木)、令和元年第4回定例会が開催された。

行政報告

塩釜地区消防事務組合管内
火災発生件数 36件
前年同期比 1件増
救急出動件数 8410件
前年同期比 84件増

(平成31年4月から令和元年11月まで)
要介護認定審査判定状況
審査会開催数 172回
審査認定数 5135件

障害者支援区分判定状況
審査回数 15回
審査判定 155件

(平成31年4月から令和元年11月まで)
塩釜地区環境センター業務実績
し尿及び浄化槽汚泥搬入量 5851t

(平成31年4月から令和

元年11月まで)
議案の審査状況

条例制定2件、条例の一部改正1件、補正予算4件、工事請負契約の一部変更1件が原案の通り賛成全員で可決。

一般質問

救急車の適正利用について

片山 正弘議員
後藤 良郎議員

吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合議会

令和2年2月17日(月)、令和2年第1回定例会が開催された。

議案の審査状況

平成30年度歳入歳出決算認定、令和元年度歳入歳出予算、監査委員の選任が原案の通り可決。

太齋 雅一議員

宮城東部衛生処理組合議会

令和元年12月24日(火)、令和元年第4回定例会が開催された。

行政報告

ごみの搬入状況
可燃・粗大ごみの総搬入量 約3万3367t
前年同期 517t減
松島町分搬入量 約4600t
前年同期 137t増

(平成31年4月から令和元年11月まで)
焼却灰、排出ガス中の放射性物質濃度及び埋立

地浸出処理水、地下水、各施設敷地空間放射線量の測定結果は、ヨウ素131が不検出、その他についても基準以内・不検出。

議案の審査状況

条例制定2件、条例の一部改正1件、補正予算1件が原案の通り賛成全

員で可決。

今野章議員
櫻井靖議員

宮城県後期高齢医療広域連合議

令和2年2月4日(火)、令和2年第1回定例会が開催された。

議案の審査状況

令和2年度一般会計並びに特別会計予算
一般会計歳入歳出総額 6億7529万
2000円
前年比 283万9000円減

特別会計歳入歳出総額 2505億7378万
6000円
前年比 8億7992万
8000円減

他、条例の一部改正5件、広域計画の変更、監査委員の選任、議員提案1件が原案の通り可決。

緑山 市朗議員

皆さんのからの 請願・陳情

○請願第2号
政府及び国会に対し「ライドシェア」に関する意見書の提出を求める請願

○陳情第2号
ライドシェア反対、地域公共交通の充実を求める意見書採択の陳情

総務経済常任委員会 採択

請願・陳情は令和元年第4回定例会に提出

され、総務経済常任委員会において継続審査、調査し、採択しました。

《趣旨》

自動車専用アプリを利用して自家用車により有償輸送を行なう「ライドシェア」が諸外国で拡大し

ており、わが国でも導入に向けた法整備を提案する動きがある。少子高齢化社会が急速に進行する中、地域住民の安心安全

な輸送サービスの確保とタクシー等の地域公共交通の充実、経営環境の改善等ため、意見書の提出を求める。

《意見書》

本町のタクシー事業は、地域公共交通としての位置づけを踏まえ、地域住民の足、交通弱者の移動手段など重要な役割を果たしているが、少子化や人口減少など本町のタクシー事業の経営環境は深刻である。

ライドシェア事業主体は、自家用車のドライバーが運送責任を負う形態を前提としており、安心安全な輸送サービスを提供しているタクシー事業の根幹を揺るがすものである。

重要性を認識され、地域公共交通事業の存続を危うくする「ライドシェア」と称する「白タク」行為を認めないよう強く望む。

町民の声



たかはし おさむ
高橋 鎮さん
(松島)

感謝 有難うの生活

松島人となって48年、会社人間として、定年退社を迎えるまで、地域のことや行政のこと等を顧ることなく過ごしてきました。

後期高齢者になった今思うことは、人間は生かされているのだということ、使命をもって生きることに、言葉の力を信じていることが大切であるということ、と独り言につぶやきながら、現在与えられている地域の仕事をどうも実行しています。

自分が生かされている町や地域における活動を通して、自分の人生を最高の善のものとして送るには、周りの人々への感謝の気持ち、有難うと思

議会活動

◆主な活動内容

- 1月12日 松島町成人式
 - 1月13日 松島町消防団出初式
 - 1月22日 二市三町議長団連絡協議会議員研修会
 - 1月28日 町村議会議員講座
 - 2月2日 第42回松島かき祭り
 - 2月13日 宮城黒川地方町村議会議長会定期総会
 - 2月14日 宮城県町村議会議長会表彰式・定期総会
- その他 各常任委員会、議会運営委員会を開催した。



消防団出初式

編集後記

3月定例議会で令和2年度の当初予算が承認され成立した。一般会計約87億円、特別会計等8種会計合計約74億円、総額約161億円である。

東日本大震災前年の平成22年度の当初予算の総額は約101億円であった。ゆえに、令和2年度の予算規模は、平時であった平成22年度の約6割増しである。これは震災関連事業がまだ終了していないこと、そのため国の交付金等がまだ見込めるゆえである。震災関連事業のピーク時の平成27年度の当初予算総額は約219億円で平時の約2倍まで膨らんだ。

震災関連事業もそろそろ終わりに近づき、町の予算規模・事業規模も平時にやがて戻る。そしてそのうち次のステップに踏み出さなければならぬことになるが、基金（預金）残高が徐々に目減りしつつあり、起債（借金）もたくさんある。今後の町の財政運営について憂慮しているところである。

(緑山 市朗)

広報広聴常任委員会 広報分科会

- | | | |
|----|----|----|
| 会長 | 櫻井 | 靖 |
| 委員 | 杉原 | 崇 |
| 委員 | 緑山 | 市朗 |
| 委員 | 澁谷 | 秀夫 |
| 委員 | 今野 | 章 |
| 委員 | 菅野 | 良雄 |
| 委員 | 色川 | 晴夫 |

次回6月の定例会は

6月12日(金)

開催予定です。
ぜひ、傍聴においで下さい。

